



こんにちは、人権委員会です。梅雨明け後、暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

第1学期末考査もようやく終わり、夏休みが近づいてきましたね。

さて、今回は61・62ホームルームの人権委員と、レベラーズ部の皆さんに原稿を書いていたきました。

18歳で成人となり、親の同意がなくても契約を結んだり、さまざまなことを自分で決めたりできるようになりました。自分で選択できる機会が増えることは、自分らしく生きる権利が広がるという点で、とても大切なことです。

しかし、その一方で、自分の判断に責任を持つことも求められます。知識が十分でないまま契約を結び、悪質商法や詐欺などの被害に遭ってしまう人も少なくありません。そのため、学校や家庭で正しい知識を身に付け、困ったときには一人で悩まず、家族や先生、相談機関などに相談することが大切です。

また、「成人したのだから一人で何とかすべき」と考えるのではなく、周囲が見守り、支え合える環境をつくることも重要です。18歳成人は自由が増える制度ですが、その自由を安心して生かせる社会をつくるためには、一人一人の人権を尊重し、助け合う意識を持つことが必要だと考えます。

これからもお互いを尊重し、安心して暮らせる社会を作っていきたいと思います。

我が国の自殺者数は、全体としては減少傾向にあるものの、小中高生の自殺者数は高水準で推移している。学業や進路、人間関係の悩みなどのストレスを抱えきれずに亡くなってしまうケースも多いのだろう。そういった悩みは多かれ少なかれ私たちにもあるだけに、

そのようなニュースを聞くと胸が痛む。

一方で、周囲にもできることがあったのではないかと感じることもある。苦しみに気づいて話を聞いてくれる人がいるだけで、ストレスは軽くなったかもしれない。そうではないこともあるが、何にせよ周囲の人々の存在は大切だと思う。

自殺の問題に限ったことではないが、友人の苦しみや悩みに気づくことは、きっとその人にとって大きな意味を持つだろう。そう考えたとき、友人が何でもなさそうに振る舞っていたとしても、小さな悩みのサインに気づけるような人でありたいと思う。

こんにちは、レベラーズ部です。今回の人権通信ではレベラーズ部の活動について紹介させていただきます。

レベラーズ部は校外では四校(ひのみね支援・小松島・小松島西・城ノ内)交流・合同学習や鳴門教育大学附属特別支援学校とのポッチャ交流会、「中・高生等による人権交流集会」への参加、子ども食堂ボランティアへの参加などの活動を、校内では城ノ内祭人権展やフードドライブなどの活動をしています。

また、今年は初めて障がい者支援施設 草の実学園のお祭りである「草の実まつり」ボランティアにも参加しました。参加した生徒の感想を一部紹介します。

・はじめてイベント運営のボランティアを体験させてもらって、すごく楽しかったし、良い思い出、経験になりました。草の実学園の利用者さんや職員さん、すみれの会のみなさんの作品はどれも素敵で、私も買わせてもらいました。たくさんの方とお話しできて、たくさんの方に買っていただけて、笑顔になってもらえて、皆さんの大切な作品を誰かに届けることができ、うれしかったです。ありがとうございました。

・職員の皆さんが優しくてすごく楽しいおまつりでした。作品コーナーにはすごくかわいいのに、お手頃すぎる価格のものがたくさんあり、もっといろんな人を買ってほしい商品だと思いました。地図案内もすごくわかりやすかったです。来年も楽しみです。

レベラーズ部の活動に興味のある方は、ぜひ一度部会に来てみてください。

お待ちしております。

61・63ホームルームの人権委員、及びレベラーズ部の皆さんの意見はどうでしたか？

この機会に、ご家族で人権問題について考えたり、話したりしてください。

この人権通信が、人権について考えるきっかけになればと思います。

